



▲熱心に講師の話に聞き入るメンバー



▲小名浜のまちづくり事業概要を説明する講師

その視点での講師例会という今回の目的説明があり、会は進行しました。冒頭、佐藤会長より、新年度に入り福島県の新体制のもと、どのように小名浜地区の開発が進んでいくのかを知ることが大切であります。



凍結準備室



梱包シールライン

[原料選別ライン] 魚体形状・重量の違いによってサイズ選別を行い、D/B入、シール、ラベル貼り、バンド掛け等で連続的に進めます。



冷凍倉庫

多目的オーダー対応の大容量空間。



低温荷捌室

冷気流出、暖気流入対策を徹底考察した中で、横吹出しエアーカーテン採用。

4月23日(木)、18時30分からまちづくりステーションの会議室において、会員約30名の参加のもと4月度の全体会議が開催されました。

冒頭、佐藤会長より、新年度に入り福島県の新体制のもと、どのように小名浜地区の開発が進んでいくのかを知ることが大切であります。

今月の全体会議は、講師に福島県いわき建設事務所所長前田和則氏をお招きし、「小名浜のまちづくりにおける事業概要について」と題しましてご講演を頂きました。小名浜平線(通称鹿島街道)や小名浜道路のこと、県営

4月全体会議

その視点での講師例会という今回の目的説明があり、会は進行しました。

参加者からは、鹿島街道の完成予定はいつ頃になるか等の質問があり、それの工期の明確な回答は難しいものの早期の完成と用開始が果たせるよう継続的に努力していくことが報されました。



竣工後の4月中旬から、小名浜港に水揚げされた新鮮なサバやいわしがこの施設に保管後出荷されており、初夏を迎える私たちの地域に夏の訪れを告げるかつおの水揚げ品もこの施設を利用予定です。東北有数のこの施設が、港町、水産のまち小名浜の震災復興を後押ししてくれそうです。

しおさいかわら版

発行所
小名浜まちづくり市民会議
TEL: 52-1275
FAX: 52-1415

発行日
平成27年5月20日

変わりゆく小名浜

～小名浜冷凍冷蔵施設～

(6)

平成27年3月23日。小名浜港エリアに白と青のコンテナストックが眩しい5階建ての建物、小名浜冷凍冷蔵施設が竣工しました。この施設は小名浜地域水産業施設復興整備事業で建設した福島県漁業協同組合連合会が所有、運営する施設です。

震災以前より漁船の廻船誘致を進めるために水产品の冷凍保管施設の強化を目指していましたが、震災時に被害を受けて稼働できな

い既存設備能力の復旧とあいまって、今回の建設稼働が約1万平米、凍結能力が日産100トン、保管能力が4,400トン、マイナス40℃の冷凍庫で2,000個の冷凍庫で2,000個であります。

冷凍倉庫
多目的オーダー対応の大容量空間。

低温荷捌室
冷気流出、暖気流入対策を徹底考察した中で、横吹出しエアーカーテン採用。

冷凍倉庫
1F 低温荷捌室、凍結準備室の2方向からの入庫に対応しています。

凍結室前
16.8t/DAYが4室、33.6t/DAYが1室。計5室の日産凍結能力は、100t/DAYとなります。



まちなかコンサート

す。小名浜まちづくり市民会議も主催者の1つとな
り、まちなかの賑わいづくりに繋がればとの思いで企
画しています。

6月14日の日曜日、トヨタ自動車株式会社をはじめとしますトヨタ関連会社のご協力のもと、「トヨタコミュニケーションセンター」を小名浜市民会館で開催しま

ご覧頂き、ご不明な点は市民会議事務局までお問い合わせください。

「しあわせのれん」
祭りに華を添える

4月11日(土)、市民会議メンバーによるお花見が行われました。当日はあいにくの雨で、会場を予定していた小名浜の富ヶ浦公園では開催できず、小名浜まちづくりステーションでの開催となりました。佐藤会長を始め約30名が参加し、桜を見ながらとは行かなかつたものの、和気あいあいとした雰囲気の中、小名浜の今後の展望などを話しながら、お聞きとなりました。また、同日行う予定であった、公園の清掃は5月9日に延期となりました。

お花見

地の伝統文化の一環が
嫁ぐ娘の幸せを願つて作る
「花嫁のれん」に端を発し
震災後、廃棄を待つ素晴らしい
着物を再び蘇えらせ
多くの方に見ていただけた
らどんなに幸せを運んでく
れるだろうか。という思い
で小名浜在住の本多さんを

「しあわせのれん」
祭りに華を添える

5月3日、諏訪神社の御神輿が小名浜のまち中を進む沿道で、本紙でもご紹介しました「しあわせのれん」が風にはためき、その美しさで観衆の目を楽しませていました。「しあわせのれん」が、捨てられてゆく運命だつた着物で、のれんを作ることにしたものです。小名浜の復興へのエールとして、また神様をお迎えする心の表れとして準備してきました。美しいのれんはきっと幸せを運ぶと信じて・・・。



气候になぞらえ、小名浜に目を向けると、あつという間に港湾背後地が大きな更地となり、その付近に新たな建物が立ち上がり、沖へ向けては橋が伸びていくなど、慣れ親しんだ景色の変化を実感し始めました。次の季節や環境の変化を予測しながらも、その変化の速さに体が、頭がついていけるか、健康を維持できるのかが心配です。変化に応えるもののみが生き残る自然界の中で、気候にも、経済環境の変化にも合わせていける体を鍛え上げる必要があります。皆さんにはその鍛錬が出来ていますか。

春の花を愛てる季節が到来したかと思つたら冬へ逆戻り。そして、ぐずついた天気が続いたかと思つたら一気に夏のような陽気。春の天気は移りやすいとよく言われますが、短い期間の気候の大きな変動は体調を合わせにくいうえです。

ぬひかりの囁き



小名浜まちづくり
吉田会議とは

小名浜に住む人、小名浜を心から愛する人、小名浜を輝かせたいと思っている人々が集まり、関係機関・団体と協働で小名浜のまちづくりを進めていく団体です

市民会議では随時 FB に活動状況をアップしています。見つけたらぜひ、
友達申請してね！

会員募集中

小名浜まちづくり市民会議では随時、会員を募集しています。学生さんも、働くお父さんも、子育てに励むお母さんも、年齢は問いません。皆さんも一緒に素敵なお未来の小名浜を創りませんか？

年会費 個人会員：3,000円 企業会員：15,000円 団体会員：12,000円

お問い合わせ・お申し込みは：いわき市小名浜字李町11-1（まちづくりステーション小名浜）

TEL: 52-1275 FAX: 52-1415

<http://www.onahama.jp/> E-mail: info@

http://www.chanana.jp/ E-mail: info@chanana.jp
託員(区長)連合会の御協力により配布しております